

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録に向けた支援

【担当省庁】文化庁、国土交通省



令和6年9月に国の文化審議会において、世界遺産への国内推薦候補として選定される旨、決定しました。技術的支援、財政的支援をいただき、感謝を申し上げます。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

奈良県における取組

1. 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録推進

平成19年1月に世界遺産暫定一覧表に記載。奈良県・橿原市・桜井市・明日香村で、世界遺産登録に向けた準備を進めてきた。

令和6年中の国内推薦候補選定を目標として、令和5年7月4日にいただいた文化審議会世界文化遺産部会からの意見・課題の解決に向けて、加速度的に取組を推進してきた。令和6年4月に推薦書素案・包括的保存管理計画案を提出し、9月に国の文化審議会世界文化遺産部会での審議の結果、国内推薦候補として選定される旨の答申が発表された。

文化審の意見内容(R5.7.4)	県・市村対応
①保護措置の充実	藤原宮跡など構成資産の史跡追加指定手続きを加速。
②省庁・自治体間の連携体制	文化庁、林野庁、国交省、宮内庁と協議会で、資産の包括的管理体制の構築のための会議体を設置。また、令和5年4月1日に世界遺産室を設置し、連携体制構築を加速。
③顕著な普遍的価値	構成資産の価値を十分に主張できるよう精査。
④資産の国際的な理解	令和5年9月、12月に海外の世界遺産有識者を招聘した国際会議を実施。推薦書素案にアドバイスをいただき、内容に反映。
⑤複数ある構成資産の整備・活用方針	関係機関と協議し、資産全体の整備・活用方針策定を推進

登録に向けたスケジュール

- 令和2年3月 推薦書(素案)提出①
- 令和3年3月 推薦書(素案)提出②
- 令和4年6月 推薦書(素案)提出③

令和6年4月 推薦書類等の提出④

令和6年9月 文化審議会審議 推薦候補選定

現在

令和6年中 推薦書(正式版:英文)作成

- 令和7年11月 ユネスコへ推薦書提出
- 令和7年9月 イコモス現地調査
- 令和8年5月 イコモス勧告

修正対応
視察対応

勧告対応

令和8年7月 世界遺産委員会登録審議 決定

「飛鳥・藤原」の顕著な普遍的価値とは

東アジアの古代国家形成期において、中央集権体制が誕生・成立した過程を、2つの連続する時代の宮都の変遷から示すことができる唯一無二の資産である。



「飛鳥・藤原」の構成資産候補

01 飛鳥宮跡	02 飛鳥京跡苑池	03 飛鳥水落遺跡	04 酒船石遺跡
05 飛鳥寺跡	06 橘寺跡	07 山田寺跡	08 川原寺跡
09 檜隈寺跡	10 石舞台古墳	11 菖蒲池古墳	12 牽牛子塚古墳
13 藤原宮跡	14 大和三山(香具山)	15 大和三山(畝傍山)	16 大和三山(耳成山)
17 大官大寺跡	18 本薬師寺跡	19 天武・持統天皇陵古墳	20 中尾山古墳
21 キトラ古墳	22 高松塚古墳		

2. 関係市村と連携し、国による土地買い上げにかかる調整を推進するとともに、史跡等の整備を推進

関係市村と連携し、史跡の範囲拡大や公有化、見せ方や価値説明力の向上を目指した史跡整備の充実を進めている。

3. 史跡飛鳥宮跡、史跡・名勝飛鳥京跡苑池の整備推進

令和4年度には解説板の更新や、飛鳥宮跡から飛鳥京跡苑池へ向かう見学ルート等を整備。飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池(南池)について、令和9年度に史跡整備工事に着手予定。

※貴重な流水施設が検出された飛鳥京跡苑池の北池部分については、基本設計の見直し後に工事着手予定。



飛鳥宮跡 解説板更新

飛鳥宮跡見学ルート整備

飛鳥京跡苑池南池整備イメージ

【関係市村】 橿原市、桜井市、明日香村

国にお願いすること

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録に向けて、以下の2点をお願いしたい。

- 飛鳥宮跡や飛鳥京跡苑池等の史跡・名勝・特別史跡の整備促進および維持管理に対する技術的・財政的支援、史跡地買い上げへの一層の支援をお願いしたい。
- 「藤原宮跡」の国営公園化、「高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設(仮称)」の早期整備を進めていただくようお願いしたい。

【県担当部局】 地域創造部 世界遺産室・文化財課
まちづくり推進局 公園企画課、知事公室 美しい南部東部振興課